

# 職業リハビリテーション学会通信

NO.160 2019年 12月発行

学会大会

**日本職業リハビリテーション学会  
第48回愛知大会が8月28日(金)～  
29日(土)に愛知県立大学にて開催さ  
れます**

**大勢の皆様のご参加をお待ちしております**

大会実行委員長

稲葉 健太郎(名古屋市総合リハビリテーションセンター)

## 【大会の趣旨、テーマ、2日間の概要】

愛知での大会は、2011年の第39回大会から9年ぶりになります。その前は2002年の第30回大会で開催されており、9年刻みで愛知において開催されていることになります。

この間、障害者雇用を取り巻く環境は大きく変わり、障害者雇用および障害福祉に関わる様々な施策が整備され、民間企業における障害者雇用は大きく進展し、民間企業に就職する障害者は増え続けています。昨年には就労定着支援事業が創設され、我が国の障害者就労支援・雇用に関わる制度や事業はさらに前進をし、施策は充実してきています。一方で、最近は障害者雇用の質・就労支援の質という言葉をよく耳にするようになってきています。様々な施策が整ってきている反面、実践が追いついていない状況に陥っているのかもしれないかもしれません。こうした背景には、施策自体の問題があるのは間違いありませんが、実践の現場が雇用率ありき、障害福祉サービスの事業運営ありきに走ったことは多かれ少なかれあったのではないのでしょうか。職業リハビリテーションに関わる実践家自身が、今一度、日々の実践を見直していく必要があると感じています。

他方、我が国では2016年に政府が「働き方改革」の取り組みを提唱したのを機に、法整備が進み、企業の「働き方改革」も活発化しています。長時間労働の解消、AI等の最新技術を活用した定型的作業の自動化など、時間短縮や業務の効率化に関する取り組みが注目されています。しかし、「成果を出す『真の働き方改革』は、時間だけではなく、業務の質の向上はもとより、多様な人材活用を通じたダイバーシティ社会の実現、インクルーシブな社会の実現といった社会全体の変革が重要である」と考えています。何らかの働きづらさを持つ方々の問題解決は、そうした社会実現の一つの解決策の糸口につながるのではないかと考えています。

このため、第48回大会ではテーマを「職業リハビリテーションの視点で真の働き方改革を考える～これからの10年を目指して～」とし、今後の解決課題を明らかにしたいと考えています。このテーマに基づいて基調鼎談を企画するとともに、従来のように様々な課題別のワークショップや研究発表(口述、ポスター)などを予定しています。

2日間の概要は以下の通りです。28日の1日目は午後の開始で、「基調鼎談」、「ワークショップ」、

夕方に「会員総会」「懇親会」が、29日の2日目は午前、「研究発表とワークショップ」、午後「シンポジウム」が企画されています。今回のシンポジウムは国際委員会の協力のもと、「アジア各国における障害者雇用や職リハの現状を知る」ということで、マレーシアや台湾から招聘し、広い視野で我が国の状況を見つめ直す機会になればと考えています。その他、1日目午前の学会研修委員会主催「研修基礎講座」は従来通り行われます。

#### 【大会役員と実行委員会】

これまで幾度かの準備会で上記の大会概要と以下の大会役員を決めました。会長は吉川雅博（愛知県立大学）、実行委員長は稲葉健太郎（名古屋市総合リハビリテーションセンター）で、大会実行委員会は愛知県内の学会員と地域の実践家および有志で構成されており、9月から打ち合わせを開始し、2月28日（金）にプレ大会を皮切りに、大会準備を進めて参ります。

#### 【会場への交通】

会場の住所は〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522 番 3 で、愛・地球博記念公園横にあります。交通機関は、「名古屋」駅から名古屋市営地下で「藤が丘駅」まで向かい、東部丘陵線（リニモ）「藤が丘」駅から八草行き 「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分になります。

#### 【宿泊先と航空便の確保】

来年はオリンピックが開催されます。愛知県はそこまで大きな影響は受けないと思いますが、大学近くには宿泊施設がほとんどありませんので、名古屋駅から藤が丘駅の間の都心部でのホテル確保をお願いいたします。

実行委員一同、愛知大会への参加を心からお待ちしています。

（文責 稲葉 健太郎）

第48回学会・プレ大会のご案内	1P
2019年度第3回運営理事会報告	3P
委員会報告	5P
ブロック活動報告	7P
新入会員のお知らせ	8P
事務局からのお知らせ	8P